

すかがわSDGsクイズ(小学5・6年生向け)

Q1

ゴール1「^{ひんこん}貧困をなくそう」

貧困は、遠い海外の国だけで起きていることではなく、日本でも起きている問題です。須賀川市で、生活が苦しい人からの相談を受けて、助けているのは何という場所でしょうか。(ヒント:市役所では、社会福祉課が担当しているよ。)

- A:須賀川市観光物産振興協会 B:須賀川市社会福祉協議会
C:須賀川地方保健環境組合



Q4

ゴール11「^に住み続けられるまちづくりを」

^{こうれい}高齢の人や障がいのある人の中には、災害が起きたときに1人で逃げることがむずかしい人がいます。須賀川市では、その人たちを災害のときに助けられるようにどんな準備をしているのでしょうか。

- A:助けが必要な人のリストを作って、逃げる道を決めておく
B:未来の道具で助けてくれるすごいロボットを買う
C:自分で逃げられるようトレーニングしてもらう



Q2

ゴール4「^{たか}質の高い教育をみんなに」

須賀川市では特撮を文化として残していくため、プロの監督が中学生・高校生といっしょに映像を作り上げる「すかがわ特撮塾」を特撮アーカイブセンターで行っています。令和4(2022)年度に1期生が作ったオリジナル怪獣の名前はなんでしょうか。



- A:ゆーりん B:ボータン C:ヨロイガー

Q5

野菜などを、作った^{ちいき}地域で食べることを地産地消といいます。地産地消は、ゴール12「つくる責任つかう責任」だけでなく、農業を続けていくためにも必要なことです。須賀川市の学校給食でも、地域で作った作物の油が使われています。何の油でしょうか。(ヒント:菜の花を育てているよ。)

- A:オリーブオイル B:ナタネ油 C:ラード(^{あぶら}豚の脂)



Q3

ゴール10「^{しゅうだん}人や国の不平等をなくそう」

移動手段の格差もクリアしなければならない問題です。長沼・岩瀬地域ではAIオンデマンド交通「ちょこすか」を走らせています。



「ちょこすか」は走るルートをどうやって決めているのでしょうか。

- A:運転する人が考えている B:乗る人で話し合っている
C:AI(人工知能)が決めている



Q6

ゴール16「^{けんり}平和と公正をすべての人に」

世界には、大人になっても選挙で投票する権利がない国があるのに、日本では、選挙に行かない人が多いことが問題になっています。須賀川市で、楽しく選挙に行ってもらえるように配っているものは何でしょうか。



- A:選挙パスポート B:選挙アプリ C:選挙ファストパス

